

# 環境共生と低炭素のまち・京都

平成 26 年度版

<表紙のデザインと、中面のデザインの一体感をもたせる>

## 目次

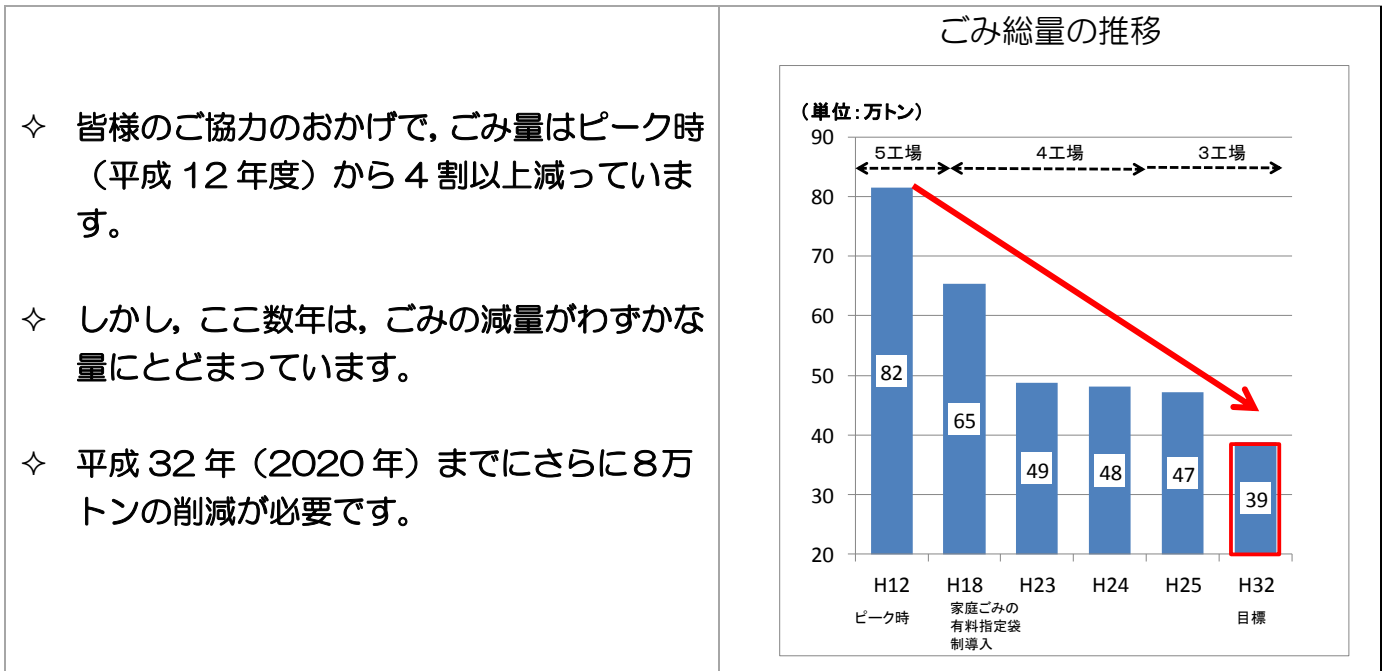
○ごみを出さない循環型社会の構築	1
○低炭素型のくらしや持続可能なエネルギー社会の実現	3
○自然環境とくらしを気遣う環境の保全	5
○私たちにできること	6
○平成26年度京都環境賞受賞者	7



# ごみを出さない循環型社会の構築

ごみ量をピーク時から半分以下まで減らすという挑戦的な目標の達成に向けて、「そもそもごみを出さない」、「ごみは資源、可能な限りリサイクル」を基本として取り組んでいます。

## ごみの総量をピーク時から4割以上削減



### これまでの主な取組実績

- 平成18年10月 家庭ごみの有料指定袋制を導入
- 平成19年10月 プラスチック製容器包装分別収集の全世帯拡大
- 平成22年6月 民間業者が収集するごみの透明袋制を導入

#### ごみ焼却施設を縮小

5工場 → 3工場

1工場当たり  
建設費用約400億円  
年間運営費約10億円  
を削減



#### ごみ収集体制を縮小

- ◇ ごみ収集車の台数/日の削減  
平成18年度258台  
→25年度188台 △70台
- ◇ ごみ収集経費の削減  
平成18年度94億円  
→25年度54億円 △40億円
- ◇ ごみ収集業務の委託化  
平成27年度当初に50%達成

- ◇ 1日1人当たりの生活系ごみ排出量は、政令市20市中で最小  
京都市 445g  
他の政令市の平均 595g
- ◇ 分別品目数26品目は、政令市20市中で最多



## ごみ半減目標達成のための基本方針1 そもそもごみを出さない

### 燃やすごみの約4割を占める「生ごみ」の減量

「(食材の)使いキリ」「食べキリ」「水キリ」に取り組む「生ごみ3キリ運動」を推進しています。

平成26年12月からは、取組を推進する飲食店等を募集し認定する「食べ残しゼロ推進店舗」認定制度を創設しました。



約60世帯、3日分の燃やすごみに入っていた手つかず食品の例



認定ステッカー

### 祇園祭での「リユース食器」の大規模取組

京都環境事業協同組合、五条露店商組合、京都市などが祇園祭ごみゼロ大作戦実行委員会を立ち上げ、露店約200店舗で約20万食分をリユース食器で提供しました。



エコステーションでの食器回収の様子

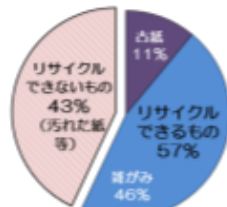
## ごみ半減目標達成のための基本方針2 ごみは資源、可能な限りリサイクル

### 燃やすごみの約3割を占める「紙ごみ」を徹底的に分別・リサイクル

紙ごみの半分近くを占める「雑がみ」(新聞・ダンボール以外のリサイクル可能な紙)について、京都ならではの回収の仕組みを構築し、平成26年6月から、分別・リサイクルを全市でスタートしました。



平成23年度の紙ごみの内訳



### 移動式拠点回収事業

使用済てんぷら油や蛍光管などの「資源物」や、石油類、薬品などの「有害・危険ごみ」の23品目を、公園や学校などで回収しています。



移動式拠点回収の様子

## その他のトピックス

### 今後のごみ減量施策について

「ピーク時からのごみ半減」に向け、ごみの減量を加速させる必要があるため、2R(リデュース、リユース)と分別促進を2つの柱とした「京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の改正を行うとともに、新たな「ごみ半減プラン」を平成26年度中に策定する予定です。

(2Rの促進)

食品ロスの削減、レジ袋有料化の拡大 など

(分別の促進)

資源ごみの分別への「協力」を義務に引き上げ、ルールを明確化し、周知・啓発を徹底 など

### 環境行政の拠点窓口「エコまちステーション」

ごみ減量・リサイクル活動への支援、相談などの拠点となる窓口を各区役所支所内に開設しています。

こんな時はエコまちステーションにご相談ください。

- ・資源ごみの出し方、分別方法を知りたい
- ・古紙等の資源物の回収拠点を知りたい



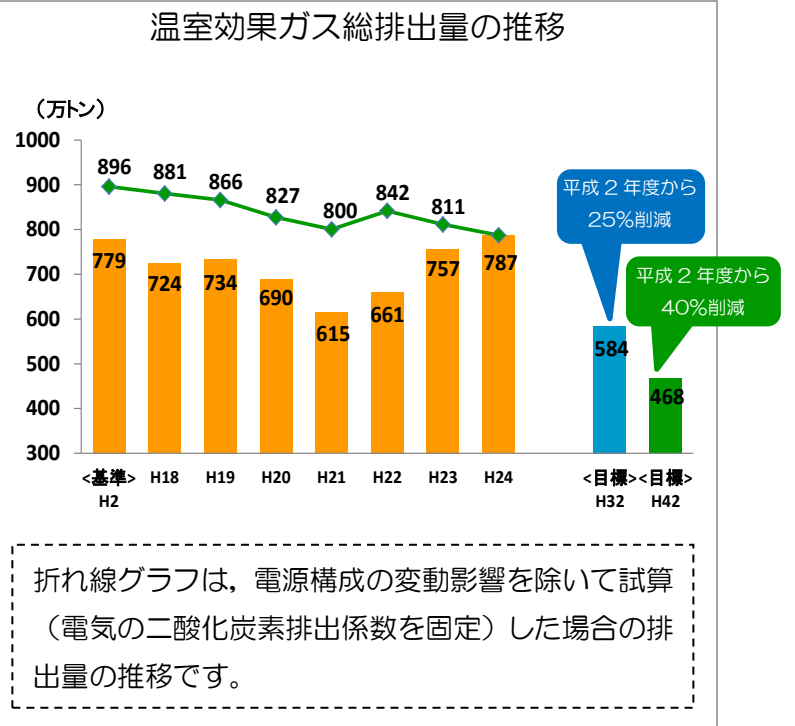
窓口の様子

# 低炭素型のくらしや持続可能なエネルギー社会の実現

「原子力発電に依存しない持続可能なエネルギー社会」の実現と温室効果ガス総排出量削減の両立に向けて、低炭素型のまちづくり、省エネ・省資源、再生可能エネルギーの飛躍的拡大などの取組を推進します。

## 京都市域からの温室効果ガス総排出量

- ◇ 平成 24 年度の排出量は、基準年度（平成 2 年度）に比べ、8 万トン、1.0%増加しました。
- ◇ 主な増加要因は、発電時の化石燃料の利用増加によるものです。その影響を除いた場合（右図の折れ線グラフ）は、12.2%減少しており、市民・事業者の皆様の省エネや節電等の取組の成果が分かります。
- ◇ 平成 32 年度までに、基準年度比 25%削減を目指し、更なる取組が必要です。



## これまでの主な取組実績

### 「京都市エネルギー政策推進のための戦略」を策定

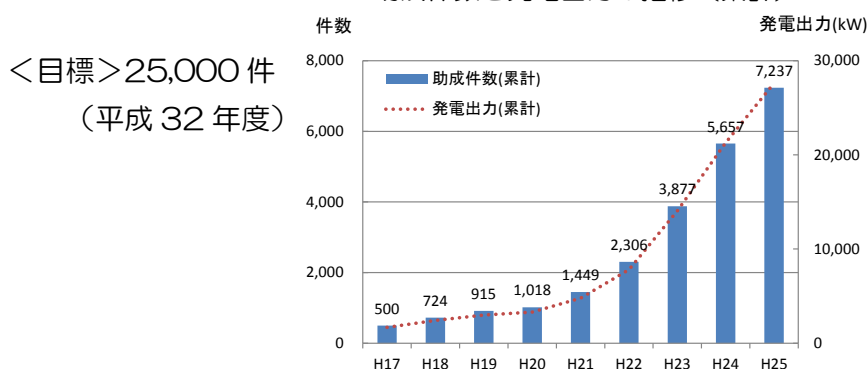
原子力発電に依存しない持続可能なエネルギー社会を目指し、京都ならではのエネルギー政策を進めます。

<戦略推進のための4つの視点>

- 市民力・地域力   産学公連携   先進性   自然の恵み

### 住宅用太陽光発電システム設置助成

平成 25 年度末における累計助成件数は 7,237 件（累計）と、順調に増加しています。



### エコ学区の全市拡大

家庭からの二酸化炭素排出量の削減を図るため、学区ごとに地域ぐるみで環境にやさしいライフスタイルへの転換を推進しています。

平成 27 年 1 月現在で、200 学区がエコ学区となりました。

（目標：平成 27 年度までに 222 学区）





## 4つの視点からの取組

### 市民力・地域力

#### 市民協働発電制度

市民誰もが再生可能エネルギーの普及に参加できる制度を創設し、市有施設9箇所において発電を行っています。

平成25年度には、市内事業者を対象とした太陽光発電屋根貸し制度を創設し、平成26年11月末現在、20施設で発電を行っています。



### 産学公連携

#### スマートシティ京都プロジェクト

岡崎地域における公共施設間のエネルギーネットワーク形成や、「現代の先端技術」と「京町家の知恵・工夫」が融合した「次世代環境配慮型住宅」の設置・実証など、先導的取組を実施しています。



次世代環境配慮型住宅  
「エコリノベーション京町家」

### 先進性

#### 都市油田発掘プロジェクト（全国初）

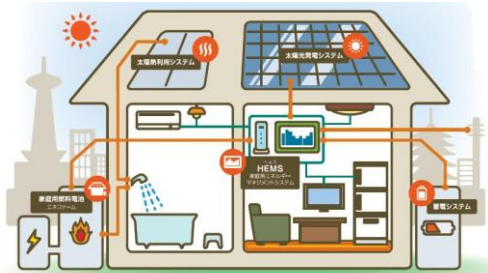
平成23年度から、日立造船(株)、熊本大学と共同で、生ごみと紙ごみから高純度のエタノールを製造する実証実験を行い、平成26年度からは、規模を拡大し、エタノール製造後の残渣物からメタンガスを製造する実証実験を進めています。



### 自然の恵み

#### すまいの省エネ・創エネに関する助成制度

平成26年度から、太陽光発電システム等に、燃料電池やHEMSも加え、設置助成を行っています。また、相談・申請窓口を、省エネリフォームも含めて京安心すまいセンターに一本化しました。



### その他のトピックス

#### 事業者の低炭素化

京都市地球温暖化対策条例に基づき、一定規模の温室効果ガスを排出する148の事業者に対し、排出量削減の計画・報告を義務付けています。

その結果、平成23～25年度の3箇年の温室効果ガス排出量は、基準年度に比べ、9.0%削減できました。また、特に大きな実績をあげた22の事業者を表彰しました。（平成26年12月）



表彰式の様子

#### イクレイ-持続可能性を目指す自治体協議会との連携

国連の公式協議機関である「イクレイ」に加盟（世界85箇国・1,000以上の自治体が加盟）し、世界の自治体と連携した環境政策を進めています。

平成26年11月に、東アジア地域理事会、京都国際環境シンポジウムを国立京都国際会館で開催し、本市の環境政策をPRしました。



京都国際環境シンポジウムの様子

# 自然環境とくらしを気遣う環境の保全

京都の優れた自然環境を後世に伝えていくため、生物多様性の保全に向けた取組を進めます。市民や事業者と一体となって、市民の生活環境の保全向上に取り組みます。

環境に対する市民の理解と行動を広げるため、ひとつづくりや環境学習の取組を進めます。

## 生物多様性の保全

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性と、生きもの同士のつながりのことをいいます。

### 「京・生きものミュージアム～京都市生物多様性総合情報サイト～」の開設

生物多様性に関する情報を発信し、市民の皆様を理解を深めていただくとともに、活動の輪が広がるよう、市民、活動団体、事業者などの多様な参加者を結び付ける役割を担います。



京・生きものミュージアムのトップページ

### 京都市生物多様性保全活動登録制度の創設

登録した市民の皆様や団体は、生物多様性に関する様々な情報をメールで受け取ることができます。

登録の受付は、「京・生きものミュージアム」において行っています。

(登録団体の紹介)



写真等

## 生活環境の保全

### 大気、水質等環境調査

PM2.5等の大気の測定や主要河川の水質の調査等の常時監視を行っています。

平成26年度から、大気の監視データをリアルタイムで表示できる、「京都市大気常時監視情報」ホームページを開設しました。

PM2.5の注意喚起情報が発出された場合は、本ホームページに掲載するとともに、学校、福祉施設、医療機関等約2,000箇所にFAX等でお知らせします。



京都市大気常時監視情報

## 環境学習の推進

### 京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）での普及啓発

平成9年12月に開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3）を記念して、平成14年に開館しました。平成26年7月には累計100万人目の来館者をお迎えするなど、多くの市民の皆様に、環境学習と環境保全活動の拠点施設として活用されています。



累計100万人目の来館者様

# 私たちにできること

## 家庭での節電アクション

- ・エアコンを使用する場合、冷房時は28℃、暖房時は20℃に
- ・照明器具は省エネ型の蛍光灯に替え、点灯時間を短く
- ・冷蔵庫は詰め込みすぎない。
- ・テレビを見ていないときは消す。



## マイバッグの持参

お買い物の際に、マイバッグを持参していただくことでレジ袋が削減でき、ごみの発生抑制につながります。



## まちの美化活動

- ・門掃きの実施  
京都には、朝、家の前を清掃する古き良き習慣があります。

- ・市民参加型の清掃活動  
ごみを捨てない意識づくり、捨てにくい環境づくりを目指しています

〈主なもの〉

- ・地域団体による一斉清掃
- ・友・遊・美化パスポート事業による清掃  
※参加者を登録のうえ「美化パスポート」を交付して、参加を認証するスタンプを押印し、参加10回ごとに記念品の贈呈を行っています。

詳細は、ホームページをご覧ください。

京都 美化パスポート 検索

## 雑がみの分別・リサイクル

- ・雑がみの例



チラシ・カタログ 紙箱 封筒・はがき 包装紙

- ・雑がみの回収の仕組み

- ①地域のコミュニティ回収に出す。
- ②民間の古紙回収業者に出す。
- ③（①と②の利用が難しい場合）「小型金属類・スプレー缶」の収集日に出す。

詳細は、ホームページをご覧ください。

京都市 雑がみ分別・リサイクル 検索

## 身近ないきもの発見

子どもたちがいきものに興味を持つきっかけづくりとして、京のいきもの発見ガイドを発行しています。

「いつ」「どこで」「どんないきものを見つけた」という情報をお寄せください。



詳細は、ホームページをご覧ください。

京の生きもの発見 検索

## 公共交通機関の利用

クルマは便利な乗り物ですが、バスの約3倍、鉄道の約9倍もの二酸化炭素を排出しています。

公共交通機関や自転車、徒歩による移動を心掛け、「かしこく」クルマを使うことが必要です。





# 平成26年度京都環境賞受賞者

京都環境賞：京都鴨川ライオンズクラブ



(活動内容等の紹介)

写真

特別賞(市民活動賞)：特定非営利活動法人 葵プロジェクト



写真

(活動内容等の紹介)

特別賞(企業活動賞)：月桂冠株式会社



写真

(活動内容等の紹介)

特別賞(環境教育賞)：京都市立朱雀第四小学校



写真

(活動内容等の紹介)

特別賞(KES 推進賞)：株式会社FUKUDA



写真

(活動内容等の紹介)

奨励賞：おむつなし育児研究所京都サロン，株式会社 山本清掃，安田産業株式会社，京都市立祥豊小学校，京都産業大学附属高等学校生物部，京都信用金庫

エコ学区特別推進賞：待賢学区（上京区）

(活動内容の紹介)

写真

エコ学区推進賞：上賀茂学区（北区），大原学区（左京区），竹間学区（中京区），六原学区（東山区），郁文学区（下京区），南区全学区(南区自治連合会)（南区），安井学区（右京区），桂学区（西京区），桂坂学区（西京区（洛西）），板橋学区（伏見区），深草学区（伏見区（深草）），醍醐西学区（伏見区（醍醐））

京都市の環境保全に関する進捗状況の詳細は、「京の環境共生推進計画 環境レポート」をご覧ください。ホームページから閲覧できます。

京都市 環境政策局 環境企画部 環境総務課

〒604 - 8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地 西庁舎 2 階

TEL:075-222-3450 FAX:075-222-3426

E-mail : [kankyosomu@city.kyoto.jp](mailto:kankyosomu@city.kyoto.jp)

平成 27 年 3 月発行 京都市印刷物 第〇〇〇〇〇号

この冊子は再生紙を使用しています。

この印刷物が不要になれば  
「雑がみ」として古紙回収等へ！

